



昭和小

第17号

校長室便り
文責
生田 文明

人権月間の取組

本校では、十一月の人権月間の取組の一環として左記の取組を行いました。

① 校長講話

十月三十一日の「光っ子」集会時に、語り部の緒方さんから伺った水俣病の原因や今なお続く差別のこと、私の初任校である水俣第二小学校で学び、経験したことを「命の大切さ」「正しく理解し、行動することの大切さ」の視点から講話を行いました。

② 授業参観

十一月十五日の授業参観では、友達と仲良く生活する上で大切なこと、いじめのないクラスにするために大切なこと、人権を無視した拉致事件のことなどについて、親子で考え、学習する機会としました。

③ 家庭教育学級

授業参観後の家庭教育学級では、「壁をこえて」のDVDを視聴し、ハンセン病の患者さんに対する長年に亘る隔離、差別について学習しました。視聴された学級生の皆さんからは「ニュースで見る範囲のことぐらいしか理解していないのが現実で、今回



家庭教育学級の様子



参観授業（1年生）の様子



校長講話の様子

30人にバトンが繋がる

～あいさつリレー～



のDVDをみて、考えることがたくさんありました。「ハンセン病、菊池恵楓園の名前は知っていました。が、長年差別があったこと、病気のことはほとんど知りませんでした。今なお、故郷に帰れない人が多いこと、差別や偏見があり、苦しめられているところを見て、心が辛くなりました。」などたくさんのご感想をいただきました。

今回の学びを多くの方には是非伝えていただきたいと思えます。

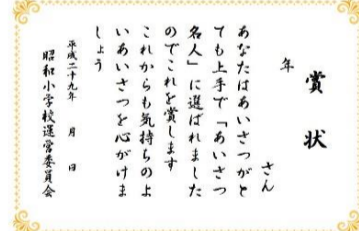
④ 教育相談の実施（十一月七日～九日）

「一人一人が生き生きと輝き、笑顔あふれ学校」とするために、子どもたちからの学校生活アンケートをもとに、全児童を対象に個別の教育相談を実施しました。現在、五月に比べ、学級生活に満足している児童が増えてきている状況です。今後も児童一人一人へ寄り添ったきめ細かな対応を心がけていきます。

児童会主催で、十月二十三日から始めた「あいさつリレー」。現在三十人があいさつ名人となり、あいさつ名人のバトンをさらにつなげていくところです。

今回の「あいさつリレー」は、最初に教師が五人のあいさつ名人を選出し、選出された5名が一週間かけ、次の五名のあいさつ名人を選び、それを毎週繰り返していくというものです。

先日、教育委員会の方々が、学校を訪問され



※大会期日・日程について

- 1. 期日 12月3日(日)
- ※雨天時 12月5日(火)
- 2. 日程 (雨天延期時と同じ)
- 10:40 開会式
- 10:55 中学年 学校出発
- 11:10 低学年 学校出発
- 11:25 高学年 学校出発
- 12:10 閉会式

持久走大会に向けて

十二月三日(日)の持久走大会に向け、十一月十三日から行間体育を実施し、本番に備えてきました。今週からは、実際に走る路上でのコースで試走を行っているところです。

昭和小学校から森川商店方面へ向かう道で、低学年1300m、中学年1800m、高学年2000mの距離を走り、宣言タイムを取り入れたレースを行います。左記の日程で行いますので、保護者、地域の皆様、応援をよろしくお願いします。

た際、教育長さんから、「立ち止まってあいさつする児童の姿に感動しました。」とお言葉をいただきました。

今学期中には、全児童が、あいさつ名人となり、いつでも、どこでも、誰にでも、笑顔で心のこもった温かいあいさつができるようになりたいことをめざしていきたいと思えます。

